

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0083

所在地 東京都千代田区麹町3-2-6 麹町本多ビル3B

評価機関名 一般社団法人日本福祉サービス評価機構

認証評価機関番号

機構 02 - 033

電話番号 03-3262-2260

代表者氏名 代表理事 太田 吉泰

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名			修了者番号
	①	太田 吉泰		H0301059
	②	笹野 武則		H0901035
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	共同生活援助(グループホーム)			
評価対象事業所名称	すてっぷ小中尾	ユニット総数	4	指定番号 1322800077
現地調査をしたユニット数及びユニット名	現地調査ユニット数	4	ユニット名	すてっぷ小中尾/すてっぷ小中尾、すてっぷ小中尾/あすなろ、すてっぷ小中尾/やまなみ、すてっぷ小中尾/そらふね
現地調査をしたユニットの選定理由(複数選択可)	<input type="checkbox"/> ユニットの特徴 <input type="checkbox"/> 前回の評価で訪問していないユニット <input type="checkbox"/> 利用者調査結果 <input checked="" type="checkbox"/> 全ユニットを調査しました。			
事業所連絡先	〒	198-0001		
	所在地	東京都青梅市成木2丁目392番地4		
	TEL	0428-74-7377		
事業所代表者氏名	宮崎啓太			
契約日	2022年 7月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 9月 11日			
利用者調査結果報告日	2022年 10月 14日			
自己評価の調査票配付日	2022年 7月 26日			
自己評価結果報告日	2022年 10月 14日			
訪問調査日	2022年 10月 26日			
評価合議日	2022年 11月 22日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は各ユニットを訪問して聞き取り方式で実施しました。調査当日不在の利用者はアンケート方式で実施しました。訪問調査は事業所を訪問して実施しました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023年 3月 31日

事業者代表者氏名 宮崎啓太

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述                  （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)利用者一人一人をかけがえのない存在として大切にします。                  2)利用者の人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。                  3)障害のある人たちに対するいかなる差別・虐待・人権侵害を許さず、人としての権利を擁護します。                  4)障害のある人たちが社会活動に参画し、市民社会の一員として生活できるよう支援します。                  5)利用者が希望する自立の実現に向けた支援をします。</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>①利用者の願いや思いに耳を傾け、理解し、その実現に向けて真摯に取り組む姿勢を持ち職務に従事する人材。                  ②業務の課題や気付きに対して迅速に対応し、業務マネジメント、タイムマネジメントを実践する人材。                  ③日々の職務を通して、地域住民や地域社会に対して、障害者の権利擁護、共生社会に向けた取り組みを発信できる人材。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>* 自らが率先して、ユニットや利用者の生活の質の向上に努め、利用者の自己実現、願いや思いに応えるべく、日々切磋琢磨、自己研鑽することを期待する。</p>

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	個別の支援計画等に基づいて、自立した生活を送れるよう支援を行っている
タイトル①	「利用者の望む生活」をもとに個別支援計画を作成して支援を行っています	
内容①	利用者の望む生活について本人とよく話し合い、本人の意向をもとに個別支援計画を作成して支援を行っています。支援については丁寧に振り返りを行い、希望を叶える計画づくりに取り組んでいます。自立支援のポイントとして、就労の安定とそのため就労支援センターとの連携、経済的な安定性の確保(金銭管理)、成年後見人制度や地域権利擁護事業の利用、地域の仲間づくりを想定して、利用者の状況に応じて支援を行っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	地域のかかりつけ医と連携するなど、利用者の健康管理に力を入れて取り組んでいます
	内容	利用者の健康管理に力を入れて取り組んでいます。高齢の利用者については地域のかかりつけ医と連携して情報を共有し、必要な時には専門医を紹介してもらうなどしています。生活習慣病(予防を含め)に対しては栄養指導を行い、希望者にメディカルフィットネスを勧めたり、歩行が不安定な利用者にはマンツーマンで歩行訓練を行っています。精神科通院による定期的なカウンセリング、歯科通院による定期的な口腔ケアも実施しています。また、食事前に誤嚥予防の口腔内体操を実施しているユニットもあります。
2	タイトル	職員には専門職も多く、その専門性や経験を活かしながら利用者の支援に取り組んでいます
	内容	職員には看護師や介護福祉士、社会福祉士などの専門職も多く、医療や介護、障害者施設等での勤務経験を持っています。その専門性や経験が利用者の支援に活かされています。例えば、骨折事故への対応や医療機関との連携などの際にその力が発揮されています。職員の多くは勤務も長く、体制は安定しています。職員同士の関係も良好で、会議でも明るくオープンに話し合い、お互いに連携して利用者の支援に取り組んでいます。
3	タイトル	
	内容	
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	高齢化への対応や精神的な支援について、職員の専門的な力量の向上に取り組むことが望まれます
	内容	65歳以上の利用者が徐々に増えてきています。今後は、支援にも介護的な要素が求められてくると思われます。一方、若年層には成育歴や家庭環境から心理面でのバックアップも必要となると考えています。このような利用者の状況に対応して、東京都の世話人研修の受講などに取り組んでいますが、今後はより高い専門性が必要になると考えられます。資格取得を含めて、職員の専門的な力量の向上に取り組むことが望まれます。
2	タイトル	マニュアル化が難しいことでも、利用者に混乱が及ばないよう対策を検討することが望まれます
	内容	職員の行う業務については、マニュアルやスタッフ会議等で決められている事項は標準化できていますが、家事のような細かなことの支援についてはマニュアル化が難しいため、支援にバラつきが出ることもあるようです。一人勤務のことが多く、職員同士のチェックも働きにくいという事情もあります。すべてを統一することは難しいかもしれませんが、利用者に混乱が及ばないよう対策を検討することが望まれます。
3	タイトル	
	内容	